

令和元年度

## 定時総会を開催

実施日：令和元年5月27日(月)

当会は5月27日(月)、港区元赤坂の明治記念館「富士の間」において、令和元年度定時総会を開催。議決事項として、平成30年度事業報告・決算報告、ならびに令和元年度事業計画(案)・収支予算(案)がそれぞれ承認された。また議事終了後、優良技術者表彰を執り行った。



定時総会は、予定通り15時に開会。初めに事務局 近藤常務理事から、「現在の正会員数は159、うち本日出席の会員数は100（委任状提出41含む）であり、これは会則第18条第3項に規定する総会成立に必要な定足数に達している」旨報告の後、伊藤会長より開会の挨拶が述べられた。

伊藤会長が議長となり、議事録署名者として、高田稔氏（㈱錢高組）、小泉泰通氏（個人会員）の2名を指名し、議事に入った。

議決事項第1号「平成30年度事業報告並びに同決算報告に関する件」について、若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための講習会・研修会を全24回開催したこと、現場見学会を4回実施したこと、また若年層、一般に向けて魅力ある建設業をPRするイベントを開催したことなど、多くの取り組みを行ったことが平成30年度事業として報告された。次いで、平成30年度決算報告が行われ、山口監事より監査報告があり、議場に諮

り、承認、可決された。

続いて議決事項第2号「令和元年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件」について、令和元年度は「I-Construction体験セミナー」や「現

場の生産性向上セミナー」など、昨今のトレンドを盛り込んだ新規の講習会を開催するなどの計画案が報告、次いで、それに基づく予算案が報告され、議場に諮り、承認された。

## 会長挨拶



東京土木施工管理技士会  
会長 伊藤 寛治

定時総会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、ご多忙のところご出席いただき、誠にありがとうございます。また、皆様には、日頃より当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「令和」の時代がスタートいたしました。「平成」は多くの人命、財産が奪われる大規模自然災害が多発した時代でもありました。これらを経験した我々土木技術者は、都市基盤整備、国土強靱化のための原動力として、技術を磨き、社会の期待に応えていかなければならないと思います。

昨年、建設業が掲げました「働き方改革断行」、「生産性革命深化」は、令和に受け継がれました。4月からは建設技能者に対する建設キャリアアップシステムの本格運用や、「特定技能」による外国人労働者の受け入れも始

まりました。

こういった働き方改革促進、生産性の向上、担い手確保・育成、女性活躍推進などに対する矢継ぎ早の諸施策に、令和における我々の挑戦は続きます。

いよいよ一年後にはオリンピック・パラリンピックを迎えることとなりました。当会では、これからも会員の皆さまがその使命を果たし、都民が安全で安心できる「都市基盤整備」に寄与できますよう、令和元年度におきましても、技術力向上や資格取得を支援する「各種講習会」や「現場見学会」などを実施するほか、若年技術者確保のために、「合同企業説明会」を開催します。

また広く一般に「建設業・土木」について理解を深めていただけるよう「広報活動」にも努め、「魅力ある建設業」の実現を目指していききたいと思います。会員の皆さまには、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日は「平成30年度事業報告・決算報告」「令和元年度事業計画(案)・予算(案)」についてご審議いただきます。また、議事終了後には、永年にわたるご功績を称える「優良技術者表彰」を執り行った後に、「講演会」を開催し、さらに東京建設業協会との共催による「懇親パーティー」を予定しております。長時間にわたりますが、本日の総会が円滑に進行できますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 優良技術者表彰

議事終了後には、引き続き「令和元年度 優良技術者表彰」が執り行われた。当会では土木技術者の日頃の研究・研鑽を称え、技術者表彰規程に基づき、優良技術者の表彰式を行っている。今年度は118名の方を表彰した。

受賞者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。



118名を代表して表彰を受ける守重鶴夫さん(成友興業株式会社)

### ■優良技術者表彰 受賞人数と概要

技術者表彰規程 第2条第2項該当者	111名	国・地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となるとして推薦のあった者
技術者表彰規程 第2条第4項該当者	5名	土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し、公的機関から表彰された者
技術者表彰規程 第2条第5項該当者	2名	土木施工管理技術を生かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し、公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者

## (一社)東京建設業協会・東京土木施工管理技士会 合同懇親パーティー

定時総会終了後、講演会を挟んで、17時30分からは(一社)東京建設業協会と合同で、懇親パーティーを開催。主催者を代表して、同協会の飯塚恒生会長より挨拶が述べられた。続いてご来賓の参議院議員・中川雅治氏、参議院議員・丸川珠代氏、東京都議会自由民主党政務調査会長・山崎一輝氏、東京都議会公明党議員団団長・中嶋義雄氏、東京都建設局長・三浦隆氏らより祝辞を賜わった。

伊藤会長の音頭で乾杯が行われ合同懇親パーティーがスタートすると、あちらこちらで大いに盛り上がる様子が見られた。パーティーは大盛況のうち閉幕となり、この日のプログラムは滞ることなくすべて終了した。



伊藤会長の乾杯でパーティーが開始された。



関係者が一堂に会し、活発に意見交換などが行われた。

# 講演会 「AIと共存する未来」 ～必要な思考のレッスンとは～



**講師 竹内 薫**(サイエンス作家)

1960年東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(専攻、科学史・科学哲学)・東京大学理学部物理学科卒業。大学院修了後はサイエンス作家として活動。物理学の解説書や科学評論を中心に著書は100冊を超える。現在、TBS「ひるおび!」に準レギュラーとして出演するなど幅広く活躍する。

定時総会の終了後、講師を招いて講演会が行われた。今回のテーマは「AI(人工知能)」。昨今耳にすることも多いこの言葉は、IT化の進む現代社会で様々な可能性を秘めた夢のワードだ。導入を検討している企業も多いことだろう。

しかし、私たちの仕事が「AI」に取って代わられてしまうという話もある。これは一体どういうことなのか。そして「AI」と共存する未来とはどのようなものなのか。この疑問をサイエンス作家の竹内薫氏が解説する。

## ■ 第4次産業革命とは

18世紀末、水力や蒸気機関による工場の機械化が起こった。第1次産業革命である。20世紀初頭には石油や電力を動力源とする第2次産業革命が、1970年代初頭からは電子工学や情報技術を使った第3次産業革命が起こった。そして今、IoTやAIによる技術革新が始まっている。これを第4次産業革命という。

例えば、アメリカにはレジでの決済が不要の店舗がある。AIが画像解析を行い、客の顔と商品を認識し、購買活動を瞬時に分析。客は商品を手に取り、何もせず店を出る。支払いがクレジットカード決済だ。こういった実験的な店舗がすでに生まれているというのだ。

このようにAIの活用が進むと、例えばレジ打ちスタッフが不要となる。人を雇用するよりもAI導入コストの方が低い場合、AIへの置き換えが起こるのだ。アメリカでは会計士や税理士のAI化などがすでに始まっているという。

日本の建設業でも、画像認識や無人化などのAI施工は一部ですでに行われている。今後、人間の仕事の49%はAIやロボットが代替するという統計までであるという。これが第4次産業革命のひとつの側面である。

## ■ なくなる仕事と残る仕事

AIはパターン学習が得意だ。ある程度規則性がありパターン化された、すなわちマニュアル化が可能な業務の多くは今後AIが担うようになっていくことだろう。

対して、AI化せずに残る仕事もある。人間同士のコミュニケーションが必要な仕事や、人の「心」が必要な仕事、また判断や決断を伴ったり、責任が必要となる仕事など。

医者や経営者、コンサルタントなどを想像するとわかりやすい。たくさんの情報を取捨選択して決断していく仕事は、今のAIにはできない。

## ■ 人間の記憶容量は何バイト？

ところで、人間の記憶容量はせいぜい0.5GBから1GBだという。実際に脳に保管されている情報量は非常に少ない。AIとは違い、人は1年前に作成したメールの文章を思い出せないのだ。

これまでに私たちの多くは、「暗記型システム」の学校教育を受けてきた。教科ごとに物事を覚え、試験を受け、試験の点数によって選別されていくシステムだ。多くの情報を記憶している人が優秀とされた。

しかしAIの記憶容量は圧倒的だ。人は暗記でAIには勝てないのである。暗記で勝負するのはもうやめよう。

## ■ 暗記型から探求型へ

現在、世界各地で、すでに教育革命が起きている。「暗記型」の教育システムではAIに到底適わないことから、自ら調べ、考え、アウトプットまで行うことを目指す「探求型」の人材が求められているというのだ。私たちは受け身で指示を待つのではなく、創意工夫を重ね、クリエイティブにAIを使いこなすような人材にならなければいけないのである。

この先、会社の人材教育も大きく変わっていくことが予想されるという。能動的には動けず、受け身で指示を待っているだけでは、仕事を得ることすら難しい社会が、すぐそこまで迫ってきているのである。

人工知能に代わられる主な仕事		生き残る仕事	
電話営業員	タクシー運転手	ソーシャルワーカー	小学校の先生
手縫い裁縫師	法律事務所の事務員、秘書	聴覚訓練士	心理カウンセラー
不動産ブローカー	レジ係	作業療法士	人事マネージャー
税務申告書作成者	クレジットカードの審査員	口腔外科医	コンピューターシステムアナリスト
経理担当者	小売り営業員	内科医	学芸員
データ入力者	医療事務員	栄養士	看護師
保険契約の審査員	モデル	外科医	聖職者
不動産仲介業者	コールセンターのオペレーター	振付師	マーケティング責任者
ローン審査員	飛び込み営業員	セールスエンジニア	経営者
銀行窓口係	保険営業員		

※英オックスフォード大学、マイケル・A・オズボーン准教授の論文「未来の雇用」で示された職種から抜粋。



竹内氏の講演会は定時総会後に行われ、多くの参加者が真剣に耳を傾けた。